

大原やすお

福岡市議会議員《早良区》



「あつらい」
 福岡市民の意識調査で97%以上の方から「福岡市は住みやすい」と回答がありました。新鮮な食材が豊富、交通の利便性等色々な要因があるようですが、一つには地域の自治会が市民の住環境を支えているからではないかと思っています。
 自治会には自治協議会を始め、子ども会、体育振興会、老人クラブなど各種の団体があり、住環境の整備に努められています。
 しかしながら近年、これら団体の役員を受けていただく方が少なくなることが大きな課題となっています。その要因の一つに行政側から各団体への委託事業が多く出事が多いこと、もう一つは地域住民の自治会活動に対しての無理解・無関心さです。

このままでは自治会が衰退し住環境が維持整備できなくなります。私たち住民も自治会活動に理解を深め、参加・協力を努めなければなりません。
 本市としては、より住みやすい地域づくりのためにも、地域各種団体が活発な自主運営ができるように、行政からの仕事の軽減を考慮しつつ、支援に力を注ぐべきだと思います。

福岡市議会議員 大原 やすお

人生100年時代

今を笑顔で生きるご夫婦と
 未来を担う子どもたちを紹介します。



ふれあいを大切に 自然を愛し故郷を伝える
 退職後の人生を生き活きと生きるご夫婦がいらっしゃいます。生まれ育った故郷の自然を愛してやまない牛尾さんは早良の自然を文字や写真で紹介し故郷を伝える活動をされています。
 子どもたちに自然のものを使った工作や伝統の遊びを通して環境保全や物を大切に作る心、工夫する楽しみを保持・伝承していきたいといわれる牛尾さんご夫婦の心の中には遊び心もいっぱいです。

議員になってみました 小学6年生 議場で議会体験(社会科特別授業)

「1日議員」になって議案を審議するという社会科特別授業が市役所議会棟で行われ市内の5校からそれぞれ100名ほどが参加しました。
 本会議場で市長(仮)から「38億円の予算で朝食を給食にします」と提案されました。その後1日議員たちは委員会(9グループ)に分かれ委員会室へ移動、活発な討論が行われました。
 本会議場に戻って各委員長から報告がされた後、全体での採決が行われ反対多数で否決されました。堂々と意見を述べる児童の姿に感心しました。参加児童は「緊張したけど楽しかった」「将来議員になろうかな」と嬉しそうに語っていました。議員の誕生を含め子どもたちの将来に期待します。



たのしかったね!バスハイク すず 寿々の会



●11月1日 施設見学
 福岡市科学館にも行きました。

給食センター見学、給食も試食しました。



●11月18日
 おもしろ説法拝聴
 紅葉の武雄市高野寺にて。



●11月27日 柿狩り
 たわわに実った柿。
 楽しかった。

地域の方々と一緒に取り組んでいます。
 大原やすお
 絆ネットワーク
 後援会活動
 報告



皆様に最も近い議員を目指し
 活動中の大原議員。
 和気あいあいの中でも
 陳情・意見・要望
 しっかりお聞きしています。

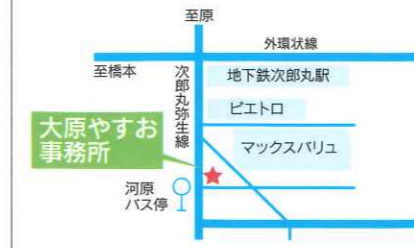
皆様の声をお聞かせください 市政座談会 を順次開催いたします

今年各校区・地域・サークルなど
 皆様のお近くにお伺いいたします。
 皆様のお声をお聞かせいただき市政に届けたいと思っております。



福岡市議会議員 大原やすお事務所

福岡市早良区次郎丸4丁目9-37
 (サンラーク次郎丸)
 TEL 092(863)9567
 FAX 092(863)9568
 mail info@oohara-yasuo.jp



皆様の力強いご支持をいただき市議大原やすおが三期目を務めさせていただいておりますことに心より感謝申し上げます。
 7月には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。マラソン選手として1964(S39)年の東京オリンピックに懸けていた私としても感慨深いものがあります。
 出場選手が本領を発揮し、活躍されることを祈っています。
 大原議員も福岡市や地域の発展の為に一つ一つ誠心誠意取り組む覚悟をしておりますので引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

後援会会長 あいさつ



大原やすお後援会
 会長 重松森雄

※絆通信印刷費用の一部は政務活動費から出させて頂いております。

令和3年11月開館予定 福岡市早良南地域交流センター



早良区南部(早良区四箇田団地隣)に待望の交流センターの建設が始まりました。ホールや図書館、チャイルドルームなども設備され、地域コミュニティの活性化、文化・スポーツの振興、地域福祉の向上が期待されます。

質問 ところがバス路線は国道に集中しており南部からバスを利用して行くのは難しい。交通アクセスが解決されなければ誰のための交流センターかわからない。交通手段を確保し、市民の利便性を図り、多くの市民が利用できる施設になることを望む。

答弁 バス事業者と精力的に協議を行うとともに他の施設や地域で行っている交通手段確保の取り組みを参考に対策をしっかりと検討していく。

交流センターイメージ図



多目的ホール



市民ロビー



図書館分館(開架コーナー)

災害時の一時避難所と 収容避難所について要望

H30年、福岡市にも豪雨による避難指示が出されました。しかしながら、避難施設は周辺の住民を収容できる広さが無かったり、避難所としての整備が十分でなかったなど数々の問題点が浮き彫りになりました。安全に、避難

住民を収容できる施設の確保、更に水や食料の備蓄も必要ですが毛布などの寝具や、災害情報を得るためのテレビや電話なども早急に整備するよう要望しました。

避難場所の 確認



平成最後の統一地方選挙で市議三期目を務めさせていただきます。

委員会等役職も変わりましたが、所属に偏ることなく目を向け取り組んでいきたいと考えております。

住宅地にも出没する イノシシ対策について

質問 耕作放棄地が増えるに従い、放棄地を巣とするイノシシの頭数が増え続けています。農作物の被害だけでなく住宅地に進出するまでになりました。生活被害や人的被害が心配されるなか、早急にイノシシ被害対策に取り組むべきではないか。

答弁 イノシシ被害防止対策として、新たにイノシシ対策担当課を設け、地元猟友会の協力をいただき、糸島市など周辺自治体と連携をとりながら捕獲活動に努めていく。



- ・議会運営委員会 理事
- ・常任委員会 経済振興委員会 委員
(経済観光文化局、農林水産局、港湾空港局、農業委員会)
- ・交通対策特別委員会 委員
- ・九州大学移転跡地対策協議会 副会長
- ・政令市木材利用促進議員連盟 副会長
- ・福岡市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 理事長

大原やすおの 議会報告

決算特別委員会で
質問する大原議員

市長の答弁

令和元年10月 決算特別委員会

決算特別委員会… 本市の予算が適正かつ妥当に使われ効果があったかを審査する委員会。予算が不適切なものや非効率的なものがあれば施策の廃止や修正等をして来年度の予算案に反映させる。

地球温暖化対策における林業の重要性について

「全国木材利用促進連盟」の副会長を務めている大原議員にとって地球環境にも影響を及ぼす森林づくりは大きな課題。多面的機能を発揮する森林は、近年の地球温暖化、豪雨や干ばつ、河川や海水などにも影響し私たちの衣食住に大きくかかわっています。

「国連の気候行動サミット」で16歳の少女、グレタさんは「あなたたちは空っぽの言葉で、私の夢と子ども時代の夢を奪い去った。」と世界の各国首脳を前にして涙を浮かべ語気を強めてCO₂削減を訴えました。

質問 福岡市は二酸化炭素と地球温暖化問題をどのようにとらえ、どのような取り組みをしているのか。

答弁 「福岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき削減目標を定め、家庭部門、業務部門、自動車部門の温室効果ガス排出量の削減に重点をおいた施策を実施している。更に、市民・事業者の取り組みを促進、庁内推進体制を整備ししっかりと取り組んでいく。

質問 地球温暖化による異常気象により世界各地で災害が発生している。このまま二酸化炭素などの温室ガスが増え続けると危機的な事態になるのではないかと。子どもや孫たち世代に問題を先送りすることは許されない。私たちが現状を認識し責任を持って、温暖化阻止に取り組んで行かなくてはならない。しかし温暖化防止や自然災害防止、水資源の確保など多面的な機能を持つ森林は現在荒廃している。

林業関係の平成30年度決算額は約2億8千万円(本市の一般会計の僅か0.03パーセント)、このままだと荒廃森林の整備に30年以上かかる計算になる。林業施策に、もっと目を向けていただくことを切に望む。林業施策の取り組みについて市長のご所見を伺う。

答弁 森林面積は本市面積の3分の1を占め、自然と都市が調和したコンパクトで住みやすい都市には森林資源を有効に活用していく必要がある。

森林資源は、大切な地域資源であり、林業活性化は地域の再生にもつながっていくと考えている。森林の有する多面的機能の発揮を図るとともに、都市型林業の創造に努めていく。



福岡市を見守る背振山系



〔那珂川市に令和元年竣工、福岡県最大の貯水量〕

五ヶ山ダムに救われた福岡市

令和元年は豪雨による被害が多かったため湯水は記憶が薄くなりましたが、6-7月湯水時、竣工したばかりのこのダムの貯留水により福岡市は給水制限なしに乗り切ることができました。

市はダム周辺の山林等を取得整備し「水源涵養機能」を高めています。